

2021年3月25日

「サステナブルNRT2050」を策定しました！ ～NAAグループは2050年度CO2排出ゼロを目指します～

脱炭素化をはじめとした持続可能な社会の実現に貢献し、 世界トップレベルの空港を目指します

このたび、2016年4月に発表した「エコ・エアポートビジョン2030」を発展させ、2050年度に向けた取り組みの方向性を示す「サステナブルNRT2050」を策定しました。

CO2排出量の削減について、空港運営会社のネットゼロや、ステークホルダーを含む空港全体の数値目標を掲げるのは、国内初となります。

空港を取り巻く環境の変化を踏まえ、NAAグループとしての対応はもとより、ステークホルダーの皆様との連携を強化し、成田空港のすべての関係者とともに気候変動に対応してまいります。



2050年度目標（長期）

- NAAグループが排出するCO2をネットゼロにします
- 成田空港から排出されるCO2を2015年度比で50%削減します

2030年度目標（中期）

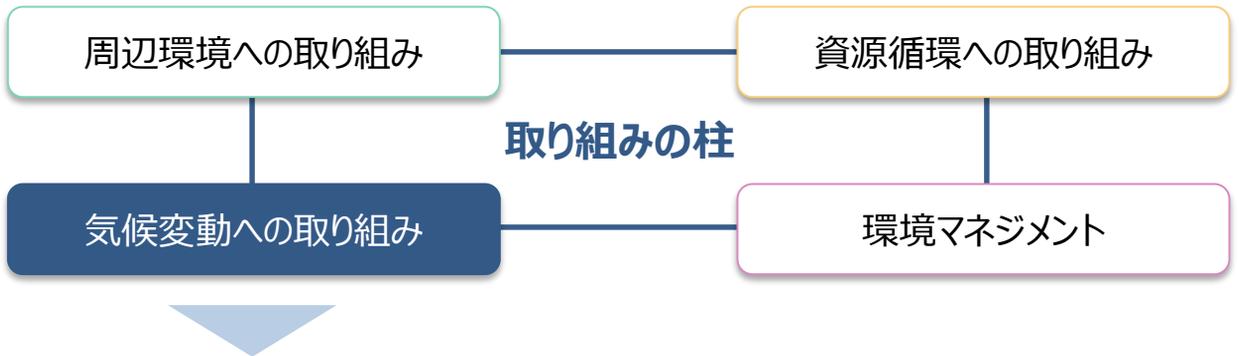
- NAAグループが排出するCO2を2015年度比で30%削減します
- 成田空港から排出されるCO2を2015年度比で発着回数1回あたり30%削減します
- NAAの「ネクストアクション」を定めてCO2削減を推進します
- 更なる機能強化における環境負荷低減の取り組みを推進します



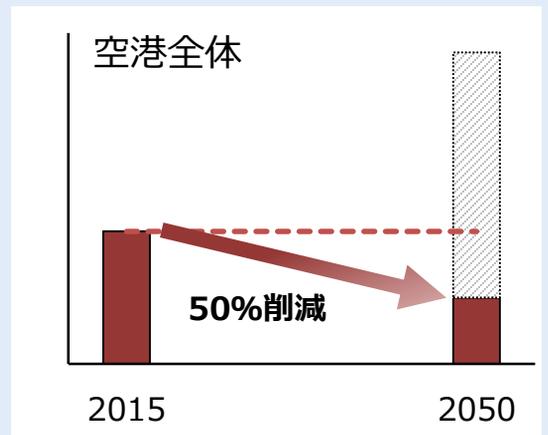
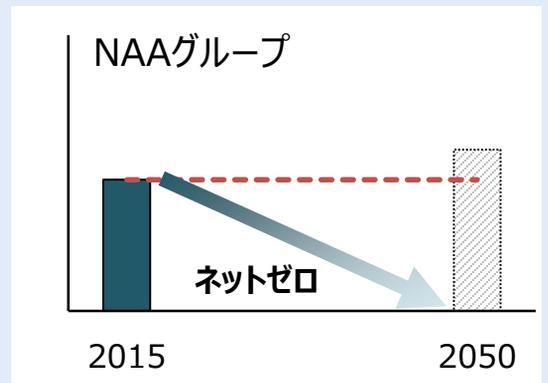
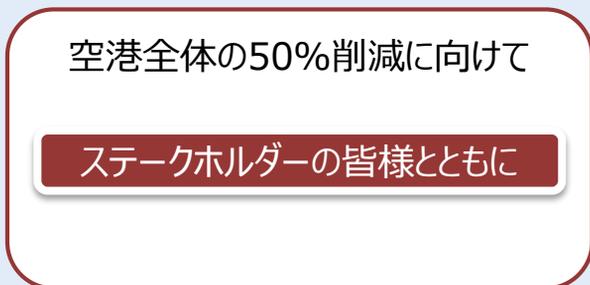
「サステナブルNRT2050」達成に向けた取り組み

成田空港では、「周辺環境への取り組み」、「資源循環への取り組み」、「気候変動への取り組み」および「環境マネジメント」の4つを大きな柱として、各種環境施策を推進しています。

「サステナブルNRT2050」では、これらの取り組みを継続しつつ、「気候変動への取り組み」をさらに進めるため、CO2排出量削減に関する中長期の数値目標を掲げています。



CO2排出量と取り組みのイメージ



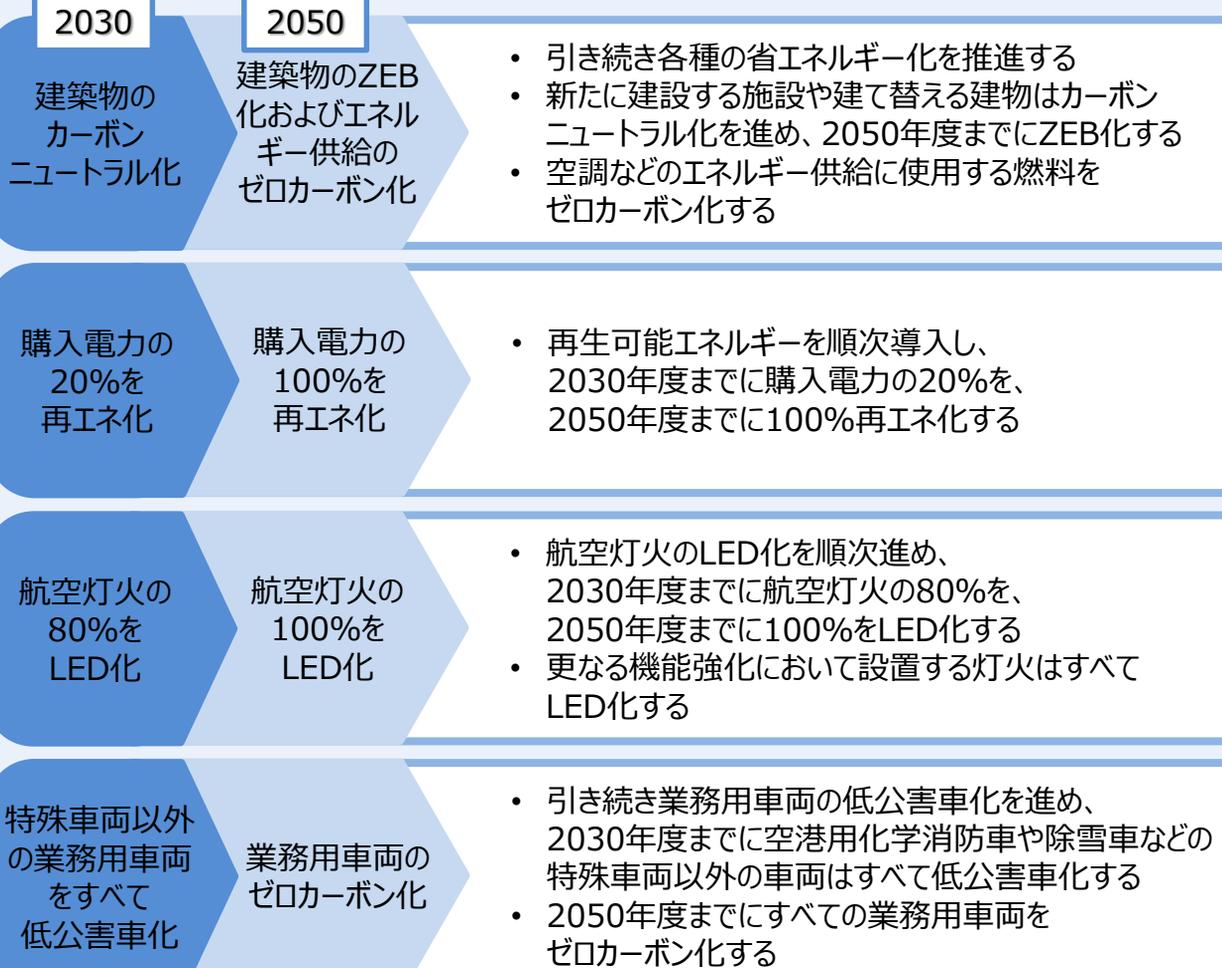
■ NAAグループ 排出量 ■ 空港全体 排出量
 □ 削減量 - - - 2015年度 排出量

NAAグループの取り組み

脱炭素社会の実現に向けて、以下の3つの取り組みを推進します。

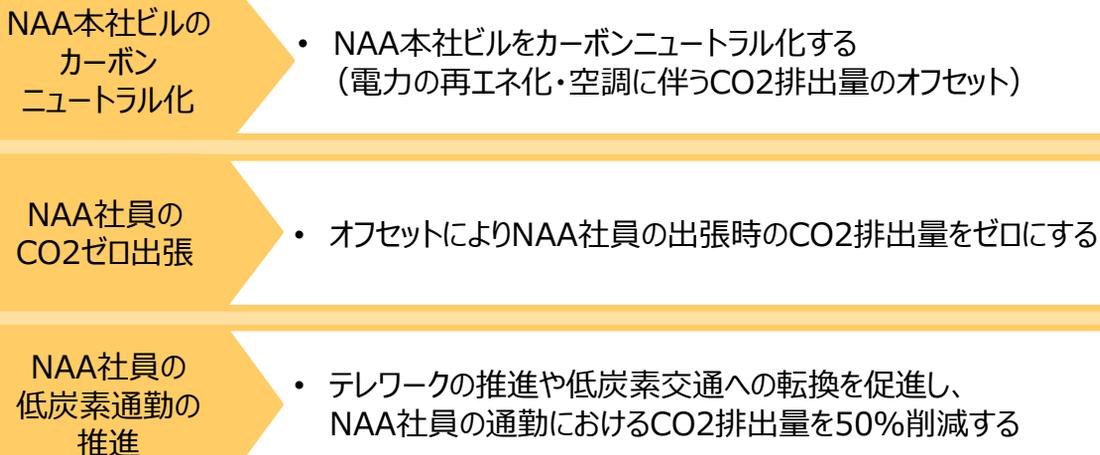
① 先進技術の導入

NAAが主体となり、先進技術を積極的に導入しCO2排出量削減に貢献します。



② ネクストアクション

NAA社員の意識啓発を図るとともに、早期に以下の目標を達成します。



③ 更なる機能強化

更なる機能強化において、環境負荷低減の取り組みを推進します。

航空機地上走行
距離の短縮

- 施設整備により航空機の地上走行距離を30%短縮する

工事中的
環境負荷低減

- 排出ガス対策型建設機械等の使用を徹底する
- 低炭素化工法を採用する
(ICTの活用による省人化・高度化・効率化、重機台数の低減等)
- 造成面の早期緑化、緑地帯の整備、谷津環境の保全を推進する

伐採木の有効活用

- 建設発生木材の再資源化を推進する

ステークホルダーの皆様とともに

ステークホルダーの皆様との協働により、
CO2排出量の削減促進策を多面的に検討・推進します。

2030

SAFの受入
体制の整備

2050

次世代型
航空機の受入
体制の整備

- 関係者と連携を図り、SAF受入に必要な体制を整備し、SAFの導入を推進する
- 次世代型航空機（電気・水素）の開発状況や導入状況を見ながら、必要な受入体制の整備を行う

フォークリフトの
低公害化

GSE車両の
ゼロカーボン化

- 2030年度までにフォークリフトの50%を低公害化する
- グランドハンドリング作業に使用されるGSE車両の共有化やゼロカーボン化を推進し、GSE車両全体の効率化や脱炭素化を図る

ステークホルダーの
CO2排出量削減促進策の導入

- ステークホルダーのCO2排出量削減に貢献できるよう各種施策を検討する
例) 「EV・FCV認定カード」をお持ちの方を対象とした駐車場料金の割引等

● 用語の定義

ゼロカーボン*	再エネやバイオ燃料の使用により、CO2排出量をゼロにすること。
ネットゼロ*	省エネや再エネ導入によりCO2排出量を削減したうえで、排出されるCO2については炭素固定・除去等により相殺し、CO2排出量を実質ゼロにすること。（クレジット購入は含まない）
カーボンニュートラル*	省エネや再エネ導入によりCO2排出量を削減したうえで、排出されるCO2については炭素固定・除去やクレジット購入等により相殺し、CO2排出量を実質ゼロにすること。
オフセット	削減努力を行ったうえで削減困難なCO2排出量について、クレジット購入やCO2削減活動に投資すること等で埋め合わせること。
SAF	Sustainable Aviation Fuelの略。 原材料の生産・収集から燃焼までの過程で、CO2排出量が少ない持続可能な供給源から製造されるジェット燃料。
ZEB	Net Zero Energy Buildingの略。 建築設計や自然エネルギーの活用により省エネ化した上で、再エネを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した建築物。
GSE	Ground Support Equipmentの略。 グランドハンドリング作業に使用する器材の総称。

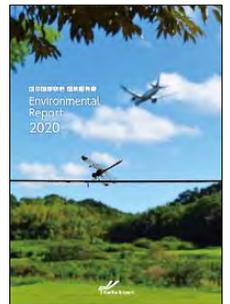
*ACI（国際空港評議会）で用いられている定義

● 環境報告書

成田空港における環境施策や環境測定結果についてとりまとめた環境報告書を年1回発行し、空港周辺にお住まいの皆様をはじめとした多くの方々にお配りしています。

「成田国際空港 環境報告書2020」では、NAAが進めているさまざまな環境への取り組みや2019年度の環境測定結果などについて、ご報告しています。

https://www.naa.jp/jp/issue/kankyo_report/index.html



● 統合報告書

このたび、国内の空港会社で初めて統合報告書を発行いたしました。本報告書では成田空港の持続的成長の実現に向けた目指す方向性や取り組みをまとめており、サステナブルNRT2050の詳細についてもご紹介しております。

https://www.naa.jp/jp/issue/tougou_report/index.html

